

**プレスリリース**

日興アセットマネジメント株式会社

「アジアンインベスター インベストメント・パフォーマンス・アワード 2013」

**日興アセット、3年連続で日本における最優秀運用会社に**

～「ビバ・アメリカズ」が、日本の投信初の「リテール・プロダクト・オブ・ザ・イヤー」を受賞～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)はこのほど、アジアにおける優秀な運用会社を選ぶ「アジアンインベスター インベストメント・パフォーマンス・アワード 2013」(主催:「アジアンインベスター」)において、日本における最優秀運用会社に贈られる「ファンド・ハウス・オブ・ザ・イヤー2013(日本)」を3年連続で受賞しました。さらに、2012年12月27日に設定し、SMBC 日興証券株式会社が販売している「日興グラビティ・アメリカズ・ファンド」(愛称:ビバ・アメリカズ)が、もっとも優れたアジアの個人投資家向け金融商品に贈られる「リテール・プロダクト・オブ・ザ・イヤー」に輝きました。日本の投資家向けの投資信託が「リテール・プロダクト・オブ・ザ・イヤー」に選ばれたのは、今回が初めてとなります。



このたびの受賞は、日興アセットが日本、そしてアジアで業界を先導する運用会社として評価されていることの証左といえます。日興アセットは現在、アジア・オセアニア地域で8つの国・地域で事業を展開し、運用資産残高は13兆円超(2012年12月末時点)にのぼります。またアジア・オセアニア地域で最大規模の300社超の販売ネットワークを通じて、お客さまに投資信託を提供しています。地域性を考慮した経営を展開する『マルチ・ローカル戦略』のもと、地域ごとに異なる投資家や販売会社のニーズやトレンドを迅速に捉えた商品の開発と優れた運用ソリューションの提供に尽力してまいりました。

「リテール・プロダクト・オブ・ザ・イヤー」に選ばれた「日興グラビティ・アメリカズ・ファンド」(愛称:ビバ・アメリカズ)は、まさに日興アセットが販売会社と共に投資家のニーズを捉え、商品開発に成功した、2012年を代表するファンドです。米国における「新エネルギー革命」を契機とした米国経済隆盛の兆しをいち早く察知し、SMBC 日興証券と連携して、米国を中心とする南北アメリカ大陸の国々の企業の株式などに投資するファンドを商品化しました。リスクオンへの変化を的確にとらえ、業界に先駆けてファンドを開発した結果、当初設定額2001億円の大規模ファンドとなりました。これは、公募投信としては、2006年以来最大の当初設定額であり、また米国株式を主な投資対象とする投信としては過去最大です<sup>1</sup>。

このたびの受賞に関して、日興アセットのCIOージャパンである辻村裕樹は、「革新的な商品と優れた運用成果を投資家のみなさまにご提供するため、国内外における体制強化を進めてきました。今回の受賞は、日興アセットのこうした取り組みと、素晴らしいパートナーとの協働体制を高く評価いただいたものと考えて

<sup>1</sup> 日興アセット調べ(一般社団法人投資信託協会のデータをベースに算出)

います」と述べています。

「アジアインベスター インベストメント・パフォーマンス・アワード」はアジア地域の機関投資家向け金融専門誌である「アジアインベスター」が毎年行っているもので、運用パフォーマンス、革新性、業界でのリーダーシップ等を評価基準に、アジアの各市場で優秀であると認められた運用会社を表彰しています。

以 上

#### 「アジアインベスター インベストメント・パフォーマンス・アワード」について

毎年アジアインベスター誌により選出されるインベストメント・パフォーマンス・アワードは、世界的に優れた運用会社のほか、アジア各地域において優れたローカルプレゼンスを誇る運用会社や ETF 運用会社、販売会社などを表彰するものです。授賞式は、5月23日にコンラッド香港ホテルにて行なわれる予定です。

詳細はアジアインベスターのウェブサイトをご覧ください(英文):

<http://www.asianinvestor.net/Category/190,awards.aspx>

※当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

## ■リスク情報

- 投資信託は、投資元金が保証されているものではなく、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、投資元金を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益は、すべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。

## ■手数料等の概要

お客さまには、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、ご換金(解約)時にご負担いただく費用>

購入時手数料 上限4.20%(税抜4.0%)

換金(解約)手数料 上限1.05%(税抜1.0%)

信託財産留保額 上限1.0%

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬(年率) 上限3.17%(税抜3.12%)

一部のファンドについては、運用成果等に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

その他費用 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など

※その他費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことはできません。

※上記手数料などの合計額は、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 《ご注意》

- 手数料等につきましては、日興アセットマネジメントが運用する投資信託のうち、徴収するそれぞれの手数料等における最高の料率を記載しております。(当資料作成日現在)
- 上記に記載しているリスク情報や手数料等の概要は、一般的な投資信託を想定しており、投資信託毎に異なります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ■その他留意事項

- 当資料は、「アジアンインベスター インベストメント・パフォーマンス・アワード 2013」受賞についてお伝えすることを目的として作成した資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託をお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。

## 日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントグループ\*(以下、日興アセット)は、アジア・オセアニア地域を中核として展開する「アジアの資産運用会社」で、運用資産残高約 13.3 兆円\*\*を有します。1959 年の設立から半世紀以上にわたり、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、年金基金や事業法人などの機関投資家のみなさまには付加価値のある高品質な運用サービスを提供しています。

日興アセットは、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など国内の販売チャネルと、海外に広がる販売チャネルをあわせて、アジア・オセアニア地域で最大規模の 300 社超の販売ネットワークを通じてお客さまに投資信託を提供しています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の運用力を活用する「ワールドシリーズ・ファンド・プラットフォーム」により、お客さまのニーズに合った幅広い商品をご提供しています。

1999 年に国内初の社会的責任投資(SRI)ファンドを設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けて ISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を 2001 年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。また、リッパージャパン、アジアインベスター、R&I などの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興アセットが擁するネットワークは、東京本社をはじめ、シンガポール、香港、マレーシア、中国、インド、オーストラリア、ニュージーランドとアジア・オセアニアの 8 つの国・地域に広がっており、地域ごとに現地の特性に応じた経営を展開する「マルチ・ローカル戦略」を実践しています。ロンドンならびにニューヨークにもオフィスを構え、米国・欧州ならびに中東で投資家のみなさまにサービスを提供しています。

\*日興アセットマネジメント株式会社、海外子会社および海外関連会社の総称

\*\*日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の 2012 年 12 月末現在のデータ

## 日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会